

星のたより

2024(令和6)年
12月号
Vol. 363

☆今月の豆知識☆
⑤ ん十周年を迎えたさじアストロパーク。さじアストロパークと同じで僕も30歳ということになるのかな？ 30周年記念のプラネタリウムで登場する「チコちゃん」みたいに、ずっと同じ年のような気持ちでいるから、みんなこれからよろしくね。さじアストロパークの受付の近くでみんなを待ってるよ。



クリスマス謝恩コンサート

～今年で28回目となります～

12月の恒例行事となりました「クリスマス謝恩コンサート」は、今年で28回となります。何となくあたたかい雰囲気の中、心温まる歌声や演奏でお楽しみください。

日時：12月8日(日) 14:00～16:00(予定)

場所：さじアストロパーク1階ロビー

参加費：無料 定員：80名

出演予定：アストロシンガーズ(男声アカペラコーラス)

千代南中学校吹奏楽部、コーラスてるてる



出前観察会をおこないました

～11月8日、鳥取市内で観察会～

「届けるサービス」の一環として昨年から取り組んでいる「出前観察会」。通算6回目となる出前観察会を、イオン鳥取店さんのご協力により店舗の屋上駐車場でおこないました。当日は天候に恵まれ、月や土星、はくちょう座の二重星・アルビレオなど、見ごろの天体を見ていただきました。来年度も企画予定ですので、ぜひご参加ください。



イベント★耳より情報

☆内容や日程が変更となる場合があります。
公式ホームページで最新情報をご確認ください



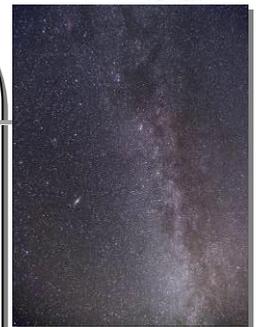
☆期間展示☆ 「鳥取市さじアストロパーク30年の歩み」7月18日(木)～12月1日(日)
オープン以来30年間に起きた出来事や天文現象などの展示です。
「アストロ宇宙写真展」12月11日(水)～2025年3月16日(日)

☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク
第2部 テーマ番組「30周年記念番組」7月18日(木)～12月1日(日)
宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム
プラネタリウムでチコちゃんに叱られる！2
テーマ番組「ガリレオとめぐる太陽系の旅」
12月4日(水)～2025年2月16日(日)

☆夜間観望会☆ ☆12月のテーマとおすすめ情報

天王星、海王星	7(土)
宇宙ふしぎ探検「月をかすめる土星を見よう」	8(日)
宇宙ふしぎ探検「ふたご座流星群を観察しよう」	14(土)
満天の星とすばる	21(土)
観望会で満天の星が楽しめる	1(日)～7(土)、18(水)～27(金)
観望会で月がよく見える	7(土)～14(土)

☆12月の休館日 2(月)、3(火)、9(月)、10(火)、16(月)、17(火)、23(月)、24(火)、29(日)～31(火)



※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。

プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で昼も夜も星空満喫～

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

前半は専門職員による当日夜の星空生解説、後半はテーマ番組投影の2部構成です。

後半のテーマ番組は

～ワクワク・ドキ！探検☆大宇宙～ ガリレオとめぐる太陽系の旅

はじめて望遠鏡を使って星の世界を観察したガリレオ・ガリレイが案内役となり、太陽系をめぐる旅に出発します。太陽や8つの惑星、小惑星、さらには外縁にあるといわれるオールの雲など太陽系の姿をわかりやすく解説します。



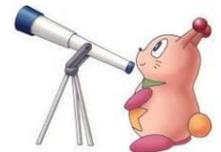
© GOTO INC

投影期間：2024年12月4日(水)～2025年2月16日(日)

プラネタリウム・天体観察会
どちらも定員40名で実施中

2. 103cm大型望遠鏡で夜間観望会（天体観察会）

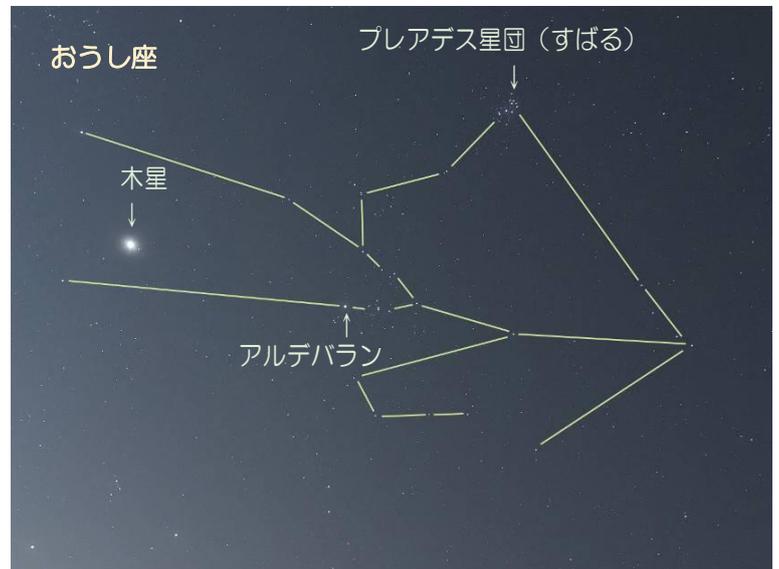
103cm大型望遠鏡を使った「夜間観望会」で、見ごろの天体を観察しています。月明かりの有無や空の状態により、当日の見ごろの天体が異なります。平日及び日曜日のご利用については、個人の方はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は曜日にかかわらず1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



12月の注目天体情報

☆ おうし座と木星

誕生星座のおうし座は、冬の星座として見られます。目印は、目玉で輝く一等星のアルデバランです。アルデバランは、「（プレアデスに）したがうもの」という意味があり、プレアデス星団に続いて昇ってきます。ギリシャ神話の大神ゼウスが美しいエウロペ姫に求婚するため、真っ白なおうしに化身した姿です。実際の夜空でおうし座をさがそうとすると、アルデバランよりはるかに明るい星が真っ先に見つかります。この星は「木星」で、おうし座の星ではありません。この冬に限っては、木星からおうし座を見つけることもできます。



☆ すばる・プレアデス星団・M45

冬の初めごろの東の空に、小さくひとかたまりになった星の集まりに気がつきます。この星の集まりは、プレアデス星団という名の星の集団（M45ともいいます）で、日本ではむかしから「すばる」と呼んで親しまれていました。双眼鏡や低倍率の天体望遠鏡ではたくさんの星の集団として見えます。



注目の天文現象

～ 月をかすめる土星とふたご座流星群 ～

今回は、注目の2つの天文現象を紹介します。月をかすめる土星とふたご座流星群です。

月をかすめる土星

12月8日(日)に一部の地域を除いて土星食が見られます。土星食とは、月が土星を隠す現象です。沖縄から北海道までの広い範囲で見られる現象ですが、残念ながら鳥取では見ることはできません。ただ、月の近くをかすめる土星を見ることができます。右の画像でもわかるように、月のかなり近くを通ります。当日はイベントを行います。園地でモニターと望遠鏡を使い、月の近くをかすめる土星をご覧ください。

日 時：12月8日(日) 17:00～19:00

定 員：40人(事前予約が必要です)

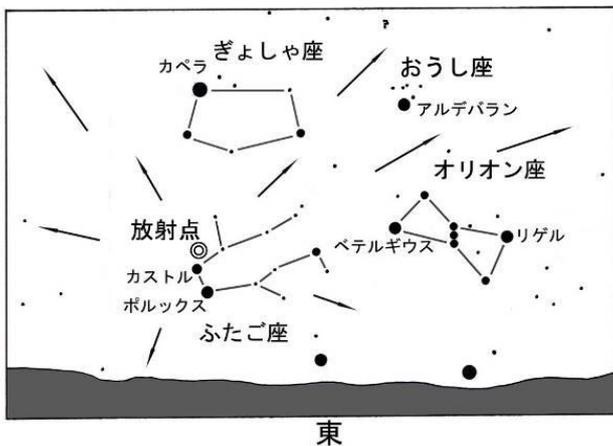
参加費：一般(高校生以上)300円、小人(小中学生)無料(入館料として)

その他：雨天曇天時は説明会とプラネタリウム、LIVE 配信を見ます

※プラネタリウムを観覧される時は一般(高校生以上)300円、小人(小中学生)200円



ふたご座流星群



ふたご座流星群は、その名のとおりふたご座の方向から流れるように見える流星群です。流星群の元になるすい星のことを「母すい星」と呼びますが、ふたご座流星群の元と考えられている天体は小惑星「フェートン」です。ふたご座流星群は、1時間に40～60個、多いときは100個近く流れるときがあります。今年は極大が14日の10時です。今年は月齢13の月があり、条件としては良くありません。ただ、明るい流星は見るすることができますので、空を見上げてみてください。

観察方法

流星を観察するときは、①星がたくさん見えるところで見ましょう。②どこに流れるかわかりませんので、肉眼で観察しましょう。③ふたご座を中心に広い範囲を観察しましょう。④寒い時期ですので、防寒対策はしっかりしましょう。⑤まわりの安全を確認し、事故のないようにしましょう。⑥レジャーシートなどに寝て、楽な姿勢で観察しましょう。以上の事に気を付けながら観察を楽しんでください。

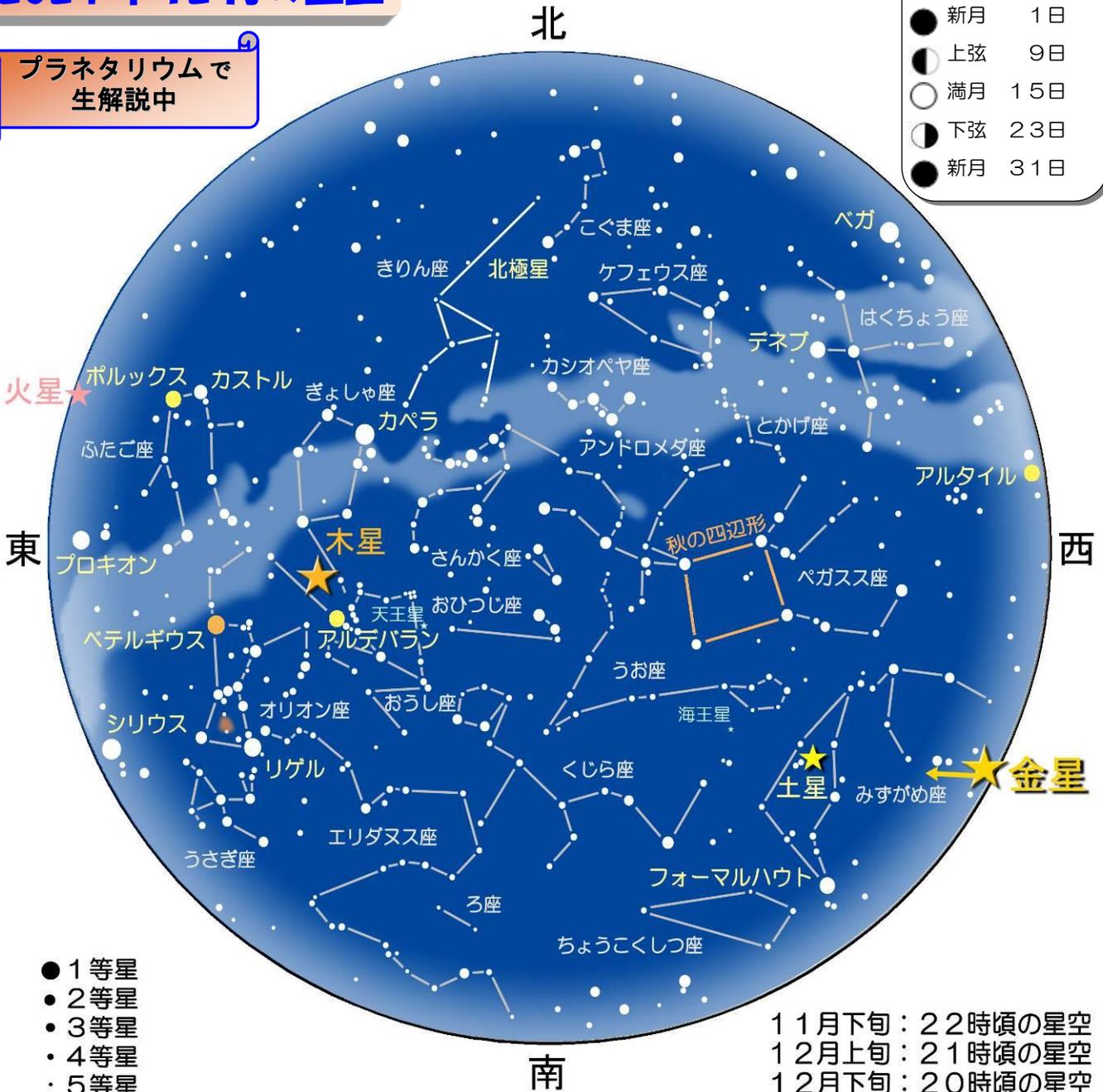


2024年12月の星空

12月の月の暦

- 新月 1日
- ◐ 上弦 9日
- 満月 15日
- ◑ 下弦 23日
- 新月 31日

プラネタリウムで
生解説中



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- 5等星

11月下旬：22時頃の星空
12月上旬：21時頃の星空
12月下旬：20時頃の星空

☆12月になると寒さが厳しくなり、また年の瀬で何となくあわただしい気分になります。夜が長くなっていますので、少しでも星空を見上げる時間を持ってみましょう。

☆長らく天の川の目印となっていた「夏の三大角」が見納めになりました。午後7時だったらまだ見られるかもしれませんが、替わって東の空からは「冬の三大角」が昇ってきています。これからの季節の星空巡りの目印になります。今年は「オリオン座」の近くに「木星」が見えますので、いつもよりもさらににぎやかな星空です。遅い時間には「火星」も昇ってきます。今回は小接近ですがいつもよりは明るく見えますので、見つけやすいでしょう。頭の真上から西側は秋の星空です。明るい星が少ないので、かえって「土星」がよく目立ちます。秋の星空のただ一つの1等星「フォーマルハウト」から土星を通過して「秋の四辺形」を見つけてみましょう。宵の明星「金星」も見えやすくなりました。



さじアストロパーク

検索

プラネタリウムや観測会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報については[ホームページ](#) & [Facebook](#) でチェック。Youtube も開設。

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1
TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103
e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp